

平成30年度北海道地域学校協働活動推進管内別協議会（日高会場）事業報告書

本協議会は、管内における子どもの学びや成長を支える活動を推進している人材の資質向上を図るとともに、地域学校協働活動等の一層の充実を目指すことを目的に開催しました。

■日 時：平成30年11月22日（木）13:00～17:00

■会 場：平取町中央公民館

■参加者：39名

社会教育委員、社会教育行政職員

■日 程：

	1300	1315	1345	1430	1445	1545	1700
	受付	開会	説明	事例紹介	休憩	講演	グループ討議
							閉会



開会式の様子

【説明】「地域学校協働活動の推進のポイント」

北海道教育庁日高教育局教育支援課社会教育指導班主査 伊藤 睦郎

地域学校協働活動の制度や仕組みについて、コミュニティ・スクールの概要についての説明を行いました。また、昨年度行った北海道CSアンケートから、「子どもに関わることで自分も学ぶことができ生きがいになる。」との結果を紹介し、地域で積極的に活動してほしいことを伝えました。



説明の様子

【事例紹介】「栗山町の地域学校協働活動について」

栗山町教育委員会 大津 外志男 氏

栗山町で行っている地域学校協働活動について、導入からの経過も含め説明がありました。また、栗山町の特徴的な活動となっている「小・中学校の土曜授業の取組」と「小・中・高校が一体となって取り組んでいるキャリア教育」について、地域人材や企業と協働しながら、住民総がかりで取り組んでいる様子が事例を交えながら紹介されました。



事例紹介の様子

【講演】「地域学校協働活動を推進していくための地域の役割」

北翔大学非常勤講師 谷川 松芳 氏

「青少年教育の充実と社会教育委員のかかわり」、「社会教育としての地域学校協働活動を考える」、「生涯学習と社会教育の関連性」、「地域学校協働活動の方策を考える」の4つのポイントについて法律を交えながら講演いただきました。その中で、住民による社会教育活動は、まちづくり活動の一環であり、地域資源を活用し地域学校協働活動を行うことが、青少年教育には重要であると説明されました。



講演の様子

【グループ討議】「地域学校協働活動を推進していくために」

北海道教育庁日高教育局教育支援課社会教育指導班主査 伊藤 睦郎

6つのグループに分かれて、「地域の子もたちがどのような子どもに育てほしいか」、「そのためにはどのようなことを行えばよいか」について討議を行いました。各グループとも、積極的に意見交換がされ、地域の未来を担う子どもたちのために、社会教育の充実を図っていくことが確認されました。



グループ討議の様子

【参加者の声】

- 1人の人間の役割は、時代の変化とともに変わっていきませんが、経済成長を遂げた日本で、今の時代に社会から要請される人間像と、個人の内面から発される理想の人間像を今の時代は一致させることができる時代と思います。
- 充実した内容で、有意義だったと思います。ありがとうございました。
- いろいろな方と話し合いができたことが良かったです。
- 講師が多すぎる。講演の中身が濃ければ、それのみでよいと思います。